

- 7月のミシガン大学消費者マインド指数の速報値は市場予想を上回り、3カ月ぶりに上昇。現在の景況感は過去最低を記録した前月から上昇したのに対し、先行きの景況感はおよそ42年ぶりの低水準。
- 1年後の予想物価上昇率は5.2%と、市場予想の5.3%を下回った。インフレ予想は安定、もしくはやや改善との見方も、ガソリン価格の米個人消費に与える影響に引き続き注意が必要。

マインド指数上昇も先行きの景況感は42年ぶり低水準

15日に発表された7月のミシガン大学消費者マインド指数の速報値は51.1と、市場予想（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）ならびに前月確報値の50.0を上回り、3カ月ぶりに上昇しました。前月は1978年1月以降で過去最低を記録していました。

内訳をみると、現在の景況感は57.1と、市場予想の53.7を上回り、過去最低を記録した前月の53.8から上昇したのに対し、先行きの景況感は47.3と、市場予想の47.0並みで、1980年5月以来、およそ42年ぶりの低水準となりました。

調査回答において、現在の家計が1年前と比較して良くなったとの回答は2011年12月以来、およそ11年ぶりの低水準となった前月から上昇しました。また、1年後の家計悪化を予想しているとの回答は、過去最高に並ぶ水準となった前月から低下しました。

1年後の予想物価上昇率は市場予想を下回った

1年後の予想物価上昇率は5.2%と、市場予想の5.3%を下回りました。同上昇率は今年3月に、1981年12月以降の最高へ上昇した後は、一服の動きとなっています。

ミシガン大学は、消費者は物価が家計に悪影響を与えるとの見方で引き続き一致しているとしました。一方で、インフレ予想は安定、もしくはやや改善したとしました。

ガソリン価格の本格的な下落は早くも秋以降との見方も

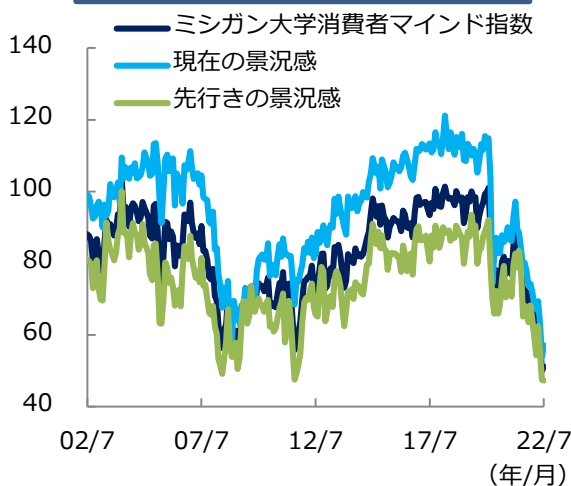
米国のガソリン平均小売価格は6月中旬に過去最高を記録した後は低下傾向にありますが、昨年末と比較して足もとでおよそ4割も高い水準にあります。

石油輸出国機構（OPEC）など産油国が今後、増産に踏み切るか不透明な状況のなか、ガソリン価格の本格的な下落は早くも秋以降との見方もあり、米個人消費に与える影響に引き続き注意が必要です。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

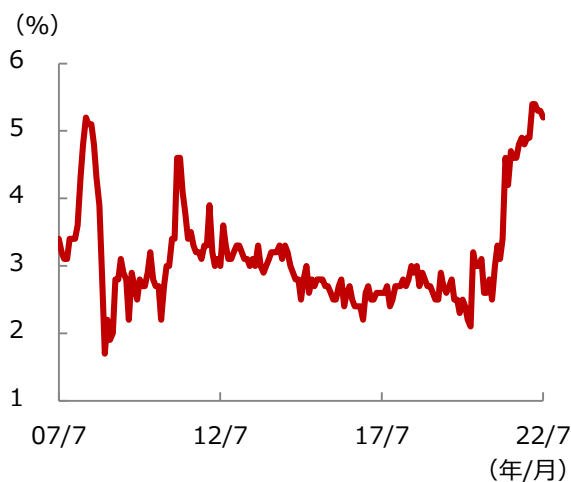
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

消費者マインド指数の推移



※期間：2002年7月～2022年7月（月次）
2022年7月は速報値。1966年=100とする

1年後の予想物価上昇率*



* ミシガン大学消費者マインド指数における回答
※期間：2007年7月～2022年7月（月次）
2022年7月は速報値

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。